



# 第4次八幡市総合計画

2007～2016

自然と歴史文化が調和し 人が輝く やすらぎの生活都市

～ 自立と協働による個性あふれるまちづくり～



八幡市



八幡市

# はじめに

「自然と歴史文化が調和し 人が輝く やすらぎの生活都市 ～自立と協働による個性あふれるまちづくり～」

八幡市の新しい総合計画の将来都市像です。

このたび、市民の皆様、市議会をはじめ多くの方々のご協力、そして総合計画審議会のご尽力によりまして、「第4次八幡市総合計画」を策定いたしました。

振り返ってみますと、第3次総合計画を策定しました1997(平成9)年は、バブル景気崩壊後の低成長の真ただ中にあり、長期的な不況により地域経済が大きな影響を受ける一方、21世紀という新たな時代の幕開けを目前にして、だれもが期待と不安を心に抱いていた時期でありました。

あれから10年、いざなぎ景気を超える景気拡大が進んできましたが、その実感が持てず、個人や企業、さらには地域レベルでの格差が拡大していると言われています。本市を取り巻く社会経済環境につきましても、少子高齢化の進行に伴い、2005(平成17)年には人口減少社会が現実のものとなるとともに、環境問題や安全・安心の問題がこれまで以上にクローズアップされています。また、昨年末の地方分権改革推進法の成立に見られるように、地方分権の進展など国と地方の関係も大きく変化してきています。

こうした状況の中、まちづくりを進めていくためには、行政だけでなく、市民、NPO、事業者など本市に関わる全ての人々がともに考え、ともに行動することが不可欠となってまいります。

「第4次八幡市総合計画」実現に向けたキーワードは、「市民参画・市民協働」

です。市民の皆様のご理解とご協力のもと、本市ならではの自然や歴史文化を活かしながら、力をあわせて将来都市像の実現に全力で取り組んでまいります。



2007(平成19)年3月

八幡市長

西村 礼年